

JIS

計数値検査に対する抜取検査手順一 第3部：スキップロット抜取検査手順

JIS Z 9015-3 : 2011

(ISO 2859-3 : 2005)

(JSA)

平成 23 年 3 月 22 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	二 瓶 好 正	東京理科大学
(委員)	飯 塚 悦 功	東京大学大学院
	稲 葉 敦	工学院大学
	大 橋 守	社団法人日本鉄鋼連盟
	大 山 永 昭	東京工業大学
	小 野 晃	独立行政法人産業技術総合研究所
	河 村 真紀子	主婦連合会
	窪 塚 孝 夫	社団法人自動車技術会
	菅 原 進 一	東京理科大学
	鈴 木 富 雄	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
	田 中 護 史	財団法人日本船舶技術研究協会
	土 肥 義 治	独立行政法人理化学研究所
	東 郷 洋 一	財団法人日本規格協会
	富 田 育 男	社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	中 西 英 夫	社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	野 口 祐 子	森・濱田松本法律事務所
	長谷川 英 一	社団法人電子情報技術産業協会
	星 川 安 之	財団法人共用品推進機構
	若 井 博 雄	財団法人製品安全協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 11.5.20 改正：平成 23.3.22

官 報 公 示：平成 23.3.22

原 案 作 成 者：財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語, 定義及び記号	2
3.1 用語及び定義	2
3.2 記号及び略号	3
4 一般要求事項	3
5 供給者及び製品の適格性	4
5.1 供給者の適格性	4
5.2 製品の適格性	5
5.3 適格性スコア	6
5.4 製品の適格性の評価の例	8
6 スキップロット抜取検査手順	9
6.1 一般	9
6.2 最初の検査頻度及びその決定	10
6.3 検査頻度及び変更	11
6.4 抜取検査方式, ロットの選定及び検査の手順 (状態 2 及び状態 3)	14
6.5 スキップロット一時停止	15
6.6 再適格性の認定	15
6.7 製品の非適格	16
6.8 供給者の非適格及び停止	17
7 供給者の責任	17
8 検査機関及び所轄責任者の責任	18
8.1 一般	18
8.2 供給者の適格性の評価の責任	18
8.3 その他の責任	18
9 JIS Z 9015-1 との互換性	19
9.1 制限	19
9.2 ゆるい検査との関係	20
10 補足情報	20
10.1 設計の基礎	20
10.2 スキップロットの手順の統計的な特性	20
附属書 A (規定) 製品の適格性の評価の前に合意しておくべき要求事項のオプション	22
附属書 B (規定) 規定された検査頻度におけるランダム選択の手順	23
附属書 C (参考) スキップロット抜取検査及びゆるい検査の選定に使用する要素	25

	ページ
参考文献.....	26
解 説.....	27

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS Z 9015-3:1999** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS Z 9015 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS Z 9015-0 第 0 部：JIS Z 9015 抜取検査システム序論

JIS Z 9015-1 第 1 部：ロットごとの検査に対する AQL 指標型抜取検査方式

JIS Z 9015-2 第 2 部：孤立ロットの検査に対する LQ 指標型抜取検査方式

JIS Z 9015-3 第 3 部：スキップロット抜取検査手順

白 紙

計数値検査に対する抜取検査手順— 第3部：スキップロット抜取検査手順

Sampling procedures for inspection by attributes— Part 3: Skip-lot sampling procedures

序文

この規格は、2005年に第2版として発行されたISO 2859-3を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

この規格は、計数値による合否判定検査の包括的なスキップロット抜取検査手順について規定する。これらの手順の目的は、満足できる品質保証システム、及び効果的な品質管理力をもつ供給者が提出する高い品質の製品の検査の労力を軽減する方法を提供することである。検査の労力の軽減は、検査に提出されたロットを、規定した確率でランダムに決定し、検査なしに合格させるかどうかを決めることによって達成される。この手順は、JIS Z 9015-1で既に適用されているサンプルアイテムのランダム選択の原則を、ロットのランダム選択に拡張する。

この規格に規定する手順は、次のようなものの検査に適用できる。ただし、これらに限定されるものではない。

- a) 最終アイテム。例えば、完成品又はサブアッセンブリ製品
- b) 部分品及び原材料
- c) 工程中の資材

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 2859-3:2005, Sampling procedures for inspection by attributes—Part 3: Skip-lot sampling procedures (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“一致している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS Q 9001 品質マネジメントシステム—要求事項

JIS Z 8101-1 統計—用語と記号—第1部：確率及び一般統計用語